

授業概要

学校臨床心理学とは、学校という場において展開される臨床心理学的支援に関する知識・技術体系のことをいいます。本授業では、不登校、いじめ、非行、発達障害、学校・学級崩壊といった、学校教育過程で子どもが抱える諸問題に対する心理臨床学的援助の基本的知識及び技術について、主にスクールカウンセラーの観点から実践的に理解し、習得することを目指して講義します。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション ～授業の目的と進め方の説明～	
第 2 回	学校臨床心理学とは ～学校という場での臨床心理学的援助、特性と意義～	
第 3 回	学校臨床心理学の概要① ～学校という場の仕組み、学校教育改革とその動向、チーム学校～	
第 4 回	学校臨床心理学の概要② ～学校教育に関わる法律とその意義～	
第 5 回	学校臨床心理学の概要③ ～スクールカウンセリングの歴史と実際、3 段階の援助サービス～	
第 6 回	子どもの心理支援の基本的態度 ～カウンセリング・マインド、子ども・保護者との関わり～	
第 7 回	教育現場におけるアセスメント① ～アセスメントの意義、対象や方法～	
第 8 回	教育現場におけるアセスメント② ～事例検討：アセスメントと支援計画の立案 1～	
第 9 回	教育現場におけるアセスメント③ ～事例検討：アセスメントと支援計画の立案 2～	
第 10 回	子どもをめぐる諸問題の支援① ～事例検討：発達障害への理解と支援～	
第 11 回	子どもをめぐる諸問題の支援② ～事例検討：不登校への理解と支援～	
第 12 回	子どもをめぐる諸問題の支援③ ～事例検討：いじめ、非行への理解と支援～	
第 13 回	子どもをめぐる諸問題の支援④ ～事例検討：自傷行為、虐待への理解と支援～	
第 14 回	子どもをめぐる諸問題の支援⑤ ～チームアプローチ、連携と守秘義務～	
第 15 回	まとめ ～児童生徒・保護者、教職員への理解と支援～	
第 16 回	レポート課題	

到達目標

到達目標は、以下の2点とします。

- ①学校臨床心理学において対象となる子ども・保護者・教師の心理的な特徴や状況及び学校現場の文化について理解できる
- ②事例検討や体験的学習を通して、心理教育的援助サービスの実際的な手立てを考えることができる。

履修上の注意

本講義では、以下の点にご留意ください。

- ・授業への大幅な遅刻や早退は欠席とみなすことがあります
- ・他の受講生が授業を受ける権利を奪う行為を禁止します
- ・ランダムでご自身の意見や感想を述べていただきます
- ・主にグループワークや討論によって授業が進みますので、主体的・積極的な参加態度が求められます
- ・毎回の講義後にリアクションペーパーを提出して頂きます

予習・復習

授業で配布される資料や紹介された参考図書・視覚教材を用いることはもちろん、授業中に行ったグループワークや討論によって得た体験を振り返ることによって予習・復習を主体的に行い、学びを深めること。授業中に取り扱ったテーマや学校教育全般に関連する最新ニュース及びご自身の体験に関心を向けること。

評価方法

授業参加態度（20%）、授業後小レポート（リアクションペーパー）（30%）、期末レポート（50%）によって評価します。

テキスト

特に指定しません。適宜授業中に参考図書や文献等を紹介します。